

ビブリオバトル

中学生のビブリオバトル

県内の中学生を対象にビブリオバトル（知的書評合戦）を実施しました。「図書館と県民のつどい埼玉」では、2014年度から開催し、今年で8回目になります。県内の図書館に勤務するビブリオバトル普及委員会を中心に実行委員会を組織して運営にあたりました。

ビブリオバトルとは、発表参加者が面白いと思った本を5分間で紹介し、参加者全員で発表に関するディスカッションを2～3分間行い、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本「チャンプ本」を決定する、書評ゲームです。

今回は新型コロナの感染状況に鑑み、会場での参加は出場中学生と引率者のみに限定しました。決勝の様子はオンラインで Live 配信を行い、ウェブサイト上では後日配信も行いました。

■予選会の様子

予選会は、県内の中学校から 16 校 21 名の参加者により、11 月 12 日（土）にさいたま文学館・桶川市民ホールで実施しました。発表参加者を 4 つのグループに分け、それぞれのグループで最も多くの票を獲得した発表参加者が決勝に進みました。



※予選会集合写真

■決勝の様子

決勝は「図書館と県民のつどい埼玉 2022」開催期間の 12 月 10 日（土）に実施しました。出場した生徒と紹介した本は以下のとおりです。
※発表順

涌井 琉斗さん（川越市立砂中学校）
『かべのむこうになにがある？』
ブリッタ・テッケントラップ / 作
風木 一人 / 訳（BL 出版）

高岡 祐輔さん（草加市立谷塚中学校）
『タスキメシ箱根』
額賀 滯 / 著（小学館）

薄井 愛香さん（春日部共栄中学校）
『きのうの影踏み』
辻村 深月 / 著（KADOKAWA）

高橋 凜さん（草加市立谷塚中学校）
『奇譚ルーム』
はやみね かおる / 著（朝日新聞出版）

会場・オンラインでの投票の結果、高橋 凜さんが紹介した『奇譚ルーム』が見事チャンプ本に選ばれました。

最後に、御担当の先生方、保護者様、関係者の皆様、参加に御協力・御尽力いただき、誠にありがとうございました。

（記録：埼玉県立熊谷図書館 大高 広頌）



※決勝集合写真

予選会の紹介本一覧

湯澤 莉子さん（星野学園中学校）

『NかMか』

アガサ・クリスティー / 著

深町 眞理子 / 訳（早川書房）

山本 鈴々さん（加須市立騎西中学校）

『推し、燃ゆ』

宇佐見 りん / 著（河出書房新社）

穂積 凧沙さん（埼玉県立伊奈学園中学校）

『女の子はどう生きるか 教えて、上野先生！（岩波ジュニア新書）』

上野 千鶴子 / 著（岩波書店）

石黒 英怜奈さん（さいたま市立与野南中学校）

『火星のライオン』

ジュニア・L・ホルム / 作

もりうち すみこ / 訳（ほるぷ出版）

佐藤 快飛さん（日高市立高麗川中学校）

『空洞電車』

朝倉 宏景 / 著（双葉社）

小林 由妃乃さん（さいたま市立八王子中学校）

『コーヒーが冷めないうちに』

川口 俊和 / 著（サンマーク出版）

石塚 千尋さん（川口市立領家中学校）

『砂漠』

伊坂 幸太郎 / 著（新潮社）

田村 万実さん（埼玉県立伊奈学園中学校）

『心霊探偵八雲』

神永 学 / 著（KADOKAWA）

森野 なつさん（所沢市立美原中学校）

『スイッチを押すとき』

山田 悠介 / 著（KADOKAWA）

杉田 陽香さん（所沢市立北野中学校）

『世界飛び地大全』

吉田 一郎 / 著（KADOKAWA）

藤田 悠聖さん（春日部共栄中学校）

『世界の「頭のいい人」がやっていることを1冊にまとめてみた』

中野 信子 / 著（アスコム）

大野 成輝さん（さいたま市立馬宮中学校）

『探偵ガリレオ』

東野 圭吾 / 著（文藝春秋）

長濱 陽さん（加須市立北川辺中学校）

『長い長い殺人』

宮部 みゆき / 著（光文社）

土屋 瑠夏さん（川崎市立砂中学校）

『バブル』

バブル製作委員会 / 原作

武田 綾乃 / 著（集英社）

川越 ゆめさん（鴻巣市立赤見台中学校）

『ぼくたち負け組クラブ』

アンドリュー・クレメンツ / 著

田中 奈津子 / 訳（講談社）

江藤 光希さん（加須市立北川辺中学校）

『岬のマヨイガ』

柏葉 幸子 / 原作、吉田 玲子 / 脚本

森川 成美 / 文（講談社）

河本 彩夢さん（さいたま市立日進中学校）

『余命 3000 文字』

村崎 羯諦 / 著（小学館）

※決勝出場者を除く、タイトル五十音順